

Webで見よう！気象情報から分かる 秋まき小麦の生育予測

道総研 中央農業試験場 農業環境部 栽培環境グループ
農研機構 北海道農業研究センター 大規模畑作研究領域 気象情報利用グループ

1. 成果の概要

秋まき小麦について、気象予報が反映された圃場ごとの生育ステージや穂水分が Web 上で見られます。また気象情報から、地域の到達可能な最大収量やその年次変動の気象要因が推定できます。

2. 成果内容

(1) 栽培管理支援システムを開発しました。

- Web で圃場の生育が見える化！
- 26日先までの天気予報も反映
- 圃場ごとに生育ステージを予測
- 毎日自動更新でお手軽

(2) 気象情報から分かることとして、

- 作物モデル WOFOST（ウォーフオスト）または登熟期間中の気温と日射量から、地域の到達可能な最大収量が計算できます（図1）。
- WOFOST を用いて、出穂前の気象、登熟期間中の気温、日射量が何％収量に効いたか、を推定できます（図2）

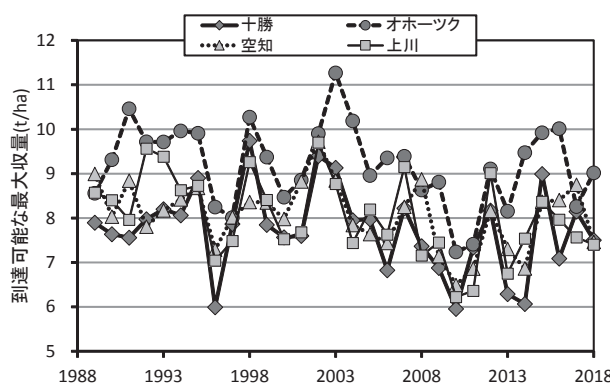


図1 到達可能な最大収量の年推移

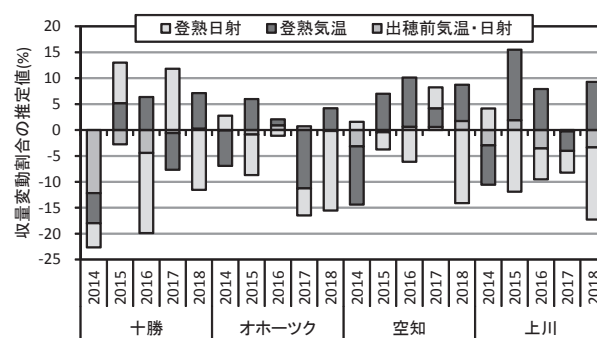


図2 収量年次変動の気象要因